

# 美しい多摩川フォーラム

多摩川をシンボルに  
みんなで美しい多摩づくりを!



美しい多摩川フォーラム

# 美しい多摩川フォーラムとは

美しい多摩川フォーラムは、悠久の母なる川として地域で最も共感が得られる“**多摩川**”というコモンズ(共有財産)をシンボルに掲げ、多摩川水系の流域周辺地域の各主体とイコール・パートナーとして連携・協働しながら、「**美しい多摩づくり運動**」を経済、環境、教育文化の3つの観点から展開しています。

## 美しい多摩づくり運動の進め方



## 美しい多摩づくり運動の目標

経済 環境 教育文化

私たちは、進化・発展する基本計画「美しい多摩川100年プラン」のもと、経済、環境、教育文化を運動の3本柱に据え、水環境を守りながら、地域経済の活性化に取り組み、そして、次代を担う子どもたちへの教育を通じて、地域の人々(多摩圏民)が生きがいを持って、自立した生活が送れるような“持続可能な地域社会”の実現を目指します。

「美しい多摩づくり運動」は、“美しい多摩”を目指す多摩圏民400万人の多摩圏民による多摩圏民のための自立した地域づくりの実践運動です。

## — ごあいさつ —

3.11東日本大震災を契機に心なしか日本各地で絆の重要性が再認識されつつあります。美しい多摩川フォーラムの歌にあるように、「人々の心をゆるく結ぶ」という考え方が普遍性をもつことが、未曾有の大震災から教訓として得られたように思います。自然の力は私たち人間の弱さ、強さを数々の教訓で教えてくれるように思います。

多摩の自然のシンボルはやはり「多摩川」だと認識している多くの人たちが、多摩地域で生活しています。多摩川は全長138kmの日本を代表する大河であり、その流域に住まう400万人の営みを助けています。老若男女が多摩川に対して一年に一度でも思いを馳せていただくことが、多摩地域に憧れと愛着をもってもらうきっかけづくりにもなります。美しい多摩川フォーラムは発足して6年が過ぎましたが、着実に芽吹いているように思います。これも美しい多摩川フォーラムの会員の皆様のご協力とご努力によるものと思います。

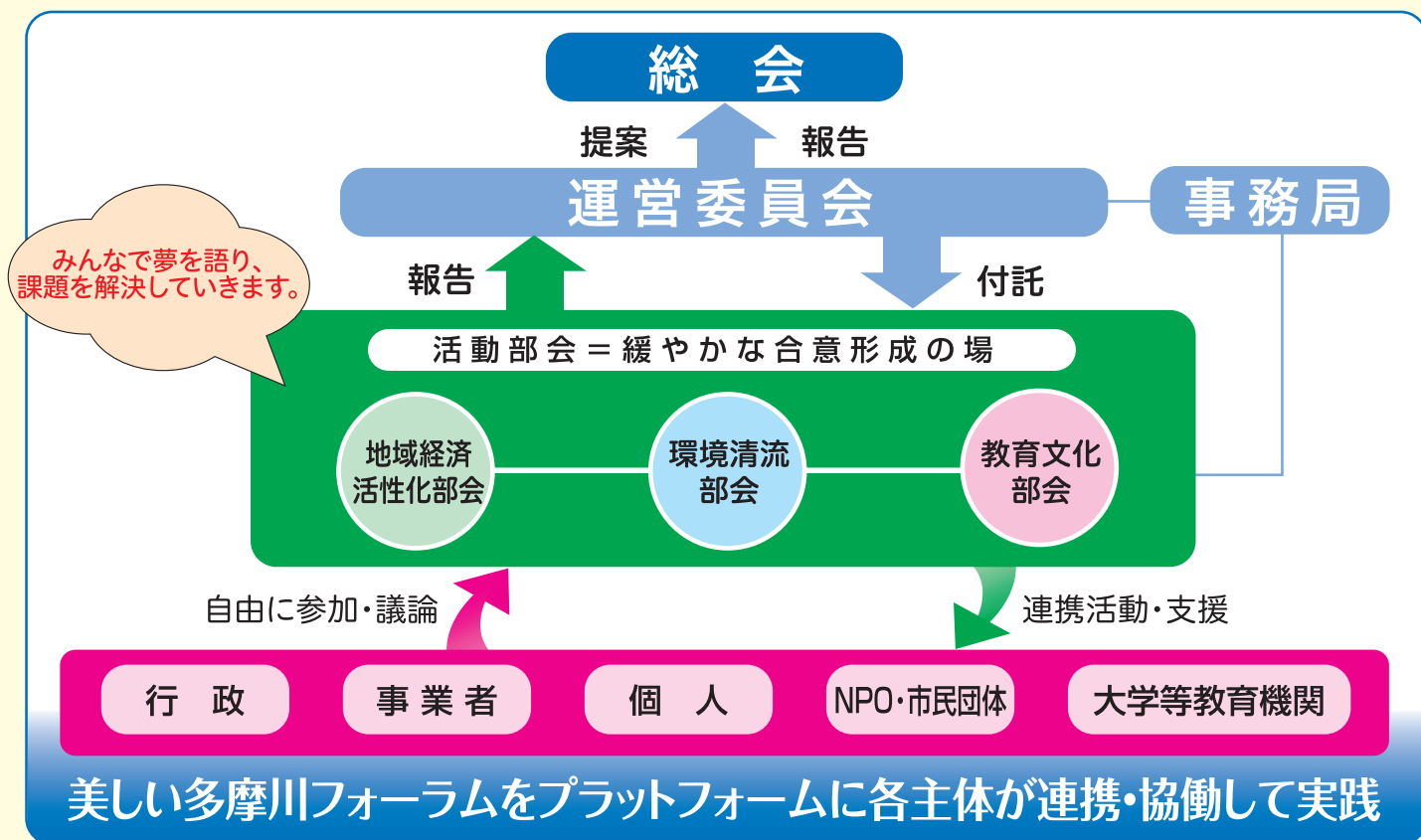
美しい多摩川フォーラムは“美しい多摩川100年プラン”を前面に掲げて発足いたしました。多摩川という悠久の流れを模範として、私たちは息長く着実に活動していくことが、ひいては次世代へ柔らかく濃く、そして美しいメッセージを送ることになります。

美しい多摩川フォーラムには多くの行政も参加し、産官学民の連携組織として様々な評価をいただき、時間をかけてゆっくり成熟と成長を続けております。皆様と一緒にこの美しい多摩川フォーラムを育てていくことの意義を確認する段階に入ってきたように思います。皆様の一層のご協力を心よりお願い申し上げます。



会長 細野 助博

# フォーラムの組織と緩やかな合意形成の流れ



## 個人の役割

身近な水環境の現状を認識・理解するとともに、環境に負荷をかけないように、身の回りの問題から環境保全活動に取り組みます。また、次代を担う子どもたちが、自然の中で遊びながら、地球環境や生命の大切さを学び、地域に対する愛着や誇りを育んでいきます。こうした取り組み等を通じて、ゆたかな暮らしが実現するよう、行政や事業者等と連携・協働して、活気のあるまちづくりに取り組みます。

## 事業者の役割

地域で事業を営む企業・事業者は、事業を通じて地域社会に貢献するとともに、その事業活動が環境資源に負荷をかけていることを認識し、いかに地域と共生していくかを考え、企業の社会的責任（CSR）を果たしていきます。特に、環境保全活動や地域づくり活動等に参加し、協力します。

## 行政の役割

まちの活性化（まちづくり）、環境の保全・創造、教育文化の向上など、複雑・多様化する地域の課題に適切に対応するため、広域的な自治体等との連携・協働活動を通じて、「美しい多摩づくり運動」に参加し、協力します。特に、情報共有を促進し、行政のホームページや広報誌を通じて市民への広報・啓発に努めるほか、広く地域において、研究や学びの場を提供します。



# 美しい多摩づくり運動

多摩川レガッタ

SL復活運転

## 地域の活性化

—持続可能な地域社会の創造—

東北復興  
支援運動

●紅葉街道

●多摩川の観光ルートづくり

●蕎麦街道

連携

美しい山形・最上川フォーラム

東北復興支援～東北・夢の桜街道プラン  
東北・夢の桜街道推進協議会 設立

夢のシンボルプラン

## 多摩川夢の桜街道

- 「桜等の植樹・維持再生活動
- 多摩川“水”大学講座
- 美しい多摩川クリーンキャンペーン(11月)
- 「美しい多摩川フォーラムの森」  
保全活動(6月、9月)
- 多摩川一斉水質調査(6月)

- 「多摩川夢の桜街道～  
桜の札所・八十八ヵ所巡り」運動
- 「多摩川酒蔵街道」(11月)
- 大人の kayak 体験教室(9月)
- 「美しき桜心の物語」の語り会(4月)
- 桜ウォーキング(4月)

- 「多摩の物語」の語り活動
- 「多摩川の歌」普及活動
- 多摩川フォトコンテスト写真展(3月)
- 桜守学校活動(3月)
- 多摩川子ども環境シンポジウム(12月)
- 炭焼き体験と水辺の交流会(8月)
- 子ども kayak 体験教室(7月)

環境

経済

教育文化

美しい多摩川100年プラン

連携・協働

## 美しい多摩川フォーラム

行政

事業者

個人

NPO

大学等

## 桜の札所・八十八カ所巡り



七十五番 ● 龍珠院



八十八番 ● 一の瀬高原・金鶏寺



一番 ● 大師橋右岸堤防桜並木



七十二番 ● 羽村取水堰と玉川上水



八十番 ● 釜の淵公園

## “美しき桜心の物語”の語り会

語り部・平野啓子副会長



五番 ● 池上本門寺・本門寺公園

毎年、桜の札所で“美しき桜心の物語”の語りをお届けいたします。

## 多摩川夢の桜街道

<http://www.sakurakaido.jp>

フォーラムは、独自に選定した「桜の札所・八十八カ所」の札所巡りを提唱し、“交流人口増加”による地域経済の活性化を目指しています。

## 桜ウォーキング



桜守が桜の楽しみ方をガイドします。



駅からハイキング大会

七十一番 ● 福生多摩川堤防

# 地域経済の活性化は、美しい多摩の桜の観光まちづくりから

「夢の桜街道」に人々が集まることで賑わいが生まれ、  
ビジネスが育ち、地域に活力が生まれます。

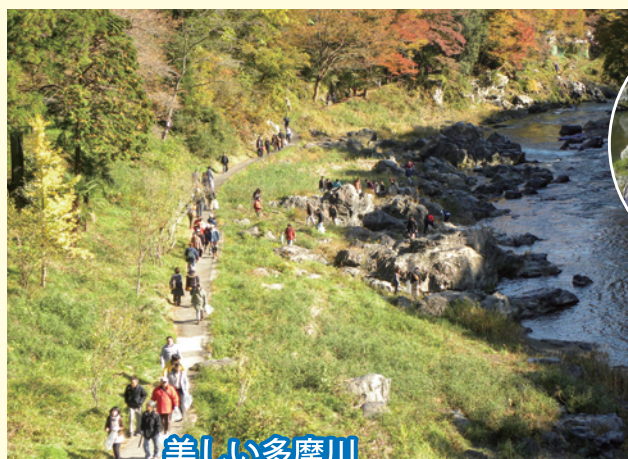
## 健康な川づくり



ダニエル・カール副会長も参加  
多摩川一斉水質調査 (毎年6月)



## きれいな水辺づくり



美しい多摩川  
クリーンキャンペーン (毎年11月)



みんなで  
がんばります!



## 健全な森づくり



美しい多摩川フォーラムの森 (青梅)  
下刈りイベント (毎年6月、9月)



美しい多摩川フォーラム・御岳の森  
(炭焼き、水辺学習等の自然体験施設)



山桜の記念植樹

地球環境問題への取り組みは、身近な水辺の実態認識から

水質調査や清掃活動、育樹活動等を通じて、  
「持続可能な地域社会」の実現に貢献します。

# 教育文化 多摩川体験学習・交流プラン

源流から河口まで多摩川をむすぶ水辺のネットワーク



子どもカヤック体験教室  
(毎年7月)



『多摩川っ子』発行 (毎年7月)

多摩川は  
環境教育の現場だ！

炭焼き体験と水辺の交流会  
(毎年8月)



竹炭の窯出し



多摩川子ども環境シンポジウム (毎年12月)



『みんなの発表誌』発行 (毎年3月)

明るい未来のまちづくりは、「次代を担う子どもたち」への環境教育から

自然の中で遊ぶ楽しさを体感し、  
生態系の仕組みや地球環境の大切さを学びます。

